

# 田尻だより

平成 19 年

9 月 号

Vol. 54

次回の田尻便りは  
10月発行予定!

(嫁日記参照)

今年の勉強会は、鳴子温泉  
で農家のおっちゃんたちと一緒に  
にお泊まり。



田尻の子どもたち

「にび」  
ひたすらに  
走り回り続ける子供達。

7月とはうって変わって酷暑の8月となり、記録的な暑さに日本中が翻弄された今年の夏が、終わろうとしています。虫の音も耳に涼しく、朝夕の涼気が秋の訪れを告げています。私達の稲穂も次第に首を垂れはじめ：さあ、いよいよ、今年の収穫に向けて動始します。

〔近頃の田舎事情〕

雁音では、いろいろな若者が働いています。近隣の農家の息子や娘、嫁がほとんどですが、不定期に県外の若者が働きにやってきます。今の生活に対する漠然とした疑問、つかみきれない不安や未来：何らかの不安や迷いを持つ若者を見ると、私たちがとりあえず田尻においてと誘います。飛び込まなきや分からないこともある。頭

でも、カラオケを歌うときは  
とってもおとなしい...



でもまたすぐに走り回る。  
(上段に戻る)

をからっぽにして働くうちに、いつしか力強い顔つきになり、何かを掴み取ってゆく。身ひとつで飛び込んだ人間をまるごと包みこむだけの、懐の深さが農業には確かにあります。ちなみに、田尻では農業を愛するお婿さんをお婿さんとして大募集中です。ただし、農業に興味のない跡取り娘も多いとか：。来たれ！悩める若人よ。田尻は（色んな意味で）君を待っている！

## 米 曆 ~こめごよみ~

- 8月2日 田んぼの生き物調査を  
~5日 しました。
- 8月18日 生き物と稲作の勉強会  
~19日 を行いました。
- 8月26日 草刈りをしました。  
~28日

8月の暑さで、稲の実りも例年に比べ早いようです。今年は豊作になるといいなあ、などと思いつつ、田んぼの見回りを続けています。

## 嫁日記

8月18・19日の2日間にわたって、恒例の「稲作と生き物の勉強会」を開催しました。今年は宿泊形式で行ったところ、皆でのお泊りに、子供たちは大興奮！

\*\*\*

講師の先生は「人と自然の研究所」の方々。私はこの半年間、生き物と環境の勉

強のために毎月東京に通っていたのですが、そこでお世話になった先生方です。

\*\*\*

勉強会は大いに盛り上がり、田んぼにライブカメラを設置したいという農家の意見も飛び出しました。…でも一番盛り上がっていたのは子供たち。懇親会ではカラオケの舞台の上を、ひたすら走り続けていました…。